



2023年6月15日

各 位

会社名 セントケア・ホールディング株式会社  
代表者名 代表取締役社長 藤間和敏  
(コード: 2374 東証プライム)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 瀧井 創  
(TEL: 03-3538-2943)

## 上場維持基準への適合に向けた計画について

当社は、2023年3月31日時点において、プライム市場における上場維持基準に適合しない状態となりました。下記のとおり、上場維持基準の適合に向けた計画を作成しましたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 当社の上場維持基準の適合状況及び計画期間

当社の2023年3月31日時点におけるプライム市場の上場維持基準への適合状況は、以下のとおりとなっており、流通株式時価総額については基準に適合しておりません。当社は、下表のとおり、2026年3月末までに、上場維持基準に適合するために、各種取組を進めてまいります。

	株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式 比率	1日平均売買代金
当社の適合状況 (2023年3月末時点)	16,628人	115,438単位	91.51億円	46.1%	0.28億円
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35%	0.2億円
計画期間	—	—	2026年3月 末まで	—	—

※1 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日(2023年3月31日)時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 1日平均売買代金は、2022年1月1日から2022年12月31日における当社の1日平均売買代金について東京証券取引所が算出を行ったものです。

#### 2. 上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針及び適合していない項目の課題と取組内容

上場維持基準の適合に向けた取組の基本方針及び適合していない項目の課題と取組内容については、添付の「東証プライム市場の上場維持基準の適合に向けた計画書」に記載のとおりです。

以上



これまでも、これからも、ずっと在宅



---

東証プライム市場の上場維持基準の  
適合に向けた計画書

---

2023年6月15日

セントケア・ホールディング株式会社

証券コード 2374



これまでも、これからも、ずっと在宅

---

## 目次

---

はじめに

I. プライム市場上場維持基準の適合状況と計画期間

II. 基準適合に向けた基本方針と課題

III. 課題に対する具体的な取り組み

---



はじめに

今般、本計画書を策定するにあたり、プライム市場上場の意味を問い直し当社における意義の再確認を行っております。

当社の主力事業である介護サービスは、社会基盤を支える欠くことのできない重要な役割を担うものであり、このコロナ禍によりその重要性への社会的認識はより高まっているものと捉えております。

斯様な状況において、当社が担う使命を全うしていくために、より高い持続可能性を確保し高めていくことが不可欠であると考え、その重要な要素のひとつがプライム市場への上場であると改めて認識し、適合に向け取り組んでまいり所存であります。



これまで、これからも、ずっと在宅

## I. プライム市場上場維持基準の適合状況と計画期間

### (1) プライム市場上場基準の適合状況

当社の基準日（2023年3月31日）におけるプライム市場上場維持基準への適合状況は以下の通り流通株式時価総額の基準値を満たすことができておりません。

	株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率	1日平均売買代金
上場維持基準	800人	20,000単位	100億円	35.0%	0.2億円
当社の状況	16,628人	115,438単位	91.51億円	46.1%	0.28億円
適合状況	○	○	×	○	○

※1 当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

※2 1日平均売買代金は、2022年1月1日から2022年12月31日における当社の1日平均売買代金について東京証券取引所が算出を行ったものです。

### (2) 本適合計画の計画期間

当社の中期経営計画は当期2024年3月期を最終期として現在進行中であり、このことを踏まえ本適合計画は、当期も含めた中期的な経営計画における各種取り組みが進み、その成果が具体的な市場評価となるまでの期間を考慮し期限を2026年3月期としております。



これまで、これからも、ずっと在宅

## Ⅱ. 基準適合に向けた基本方針と課題

### (1) 基準適合に向けた基本方針

財政負担の増大や従事者不足をはじめ、介護に関わる問題はより一層難しさを増す状況にありますが介護を支える当社といたしましては、引き続き質の高いサービスを安定的に提供し続けることで社会的責任を果たしていくことが使命と考えております。

この社会インフラ企業としての使命を果たしていくためにも、成長と発展を続け企業価値を高めていかなければならないものと認識しております。

### (2) 適合化に向けた課題

流通株式時価総額は、時価総額と流通株式比率の乗算から算出されることから、時価総額については、着実な成長と発展の実現こそ企業価値を高め、延いては時価総額の向上へとつながるものと考え、更なる取り組みが求められているものと認識しております。

加えて、企業として信頼にたる健全な経営体制の更なる強化や適切なお評価をえるための情報発信の整備などへも課題として引き続き取り組んでまいります。



これまでも、これからも、ずっと在宅

### Ⅲ. 課題に対する具体的な取り組み

#### (1) 中期的経営計画の推進

『私たちは人々の在宅での生活を守り改善するソリューションを提供し続けます』

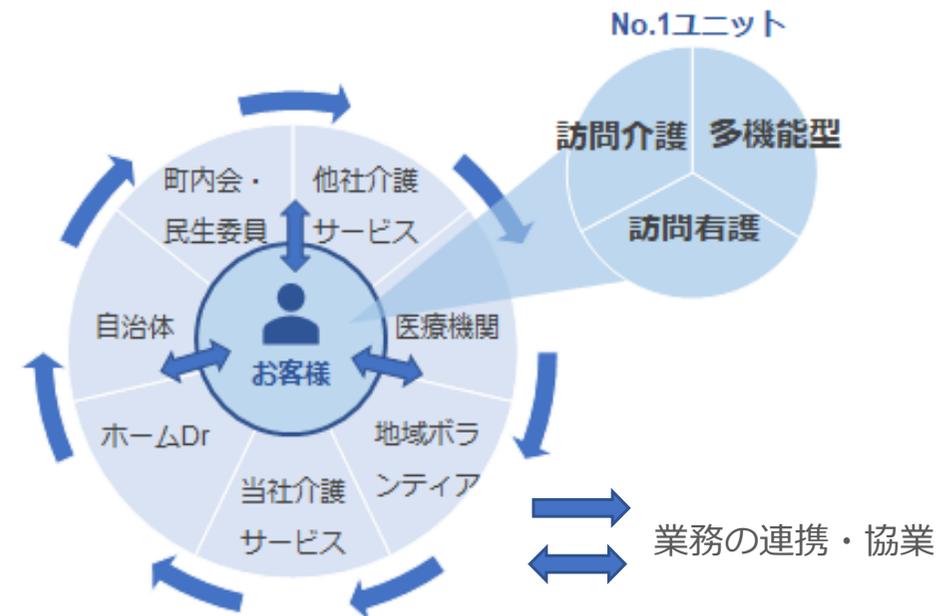
— これまでも、これからも、ずっと在宅 —

- ① コミュニティNo.1戦略の推進
- ② 在宅系サービスを中心としたポートフォリオの拡充と最適化
- ③ 品質向上に向けた介護報酬加算取得と有資格者の拡充
- ④ 先端的技術などの応用による業務の効率化
- ⑤ M&Aの積極展開



## ① コミュニティNo.1戦略の推進

- 2021年3月期より着手してまいりました「コミュニティNo.1戦略」を引き続き推進してまいります
- この推進により医療機関や同業他社などからの送客の増加がはかられご利用者様の積み増しや稼働率の向上がなされユニット化される多機能型サービス、訪問看護、訪問介護の収益拡大を実現
- ユニットとの連携強化による他のサービスにおいても収益性を改善
- 当計画内においてもNo.1エリアを広げ、早期90ヶ所の実現を目指してまいります





これまでも、これからも、ずっと在宅

## ②在宅系サービスを中心としたポートフォリオの拡充と最適化

- ・国や自治体の政策や競合、お客様の動向のほか、2024年4月の介護および診療報酬改定などの外的要因、内的要因を広く踏まえポートフォリオの最適化を推進

政策的背景	当社取り組み	実績（FY19/3/FY23/3 施設数）と取組	
医療との連携強化	訪問介護強化	訪問看護	79⇒129
	医療系加算要件への適合		
地域密着による中重度対応	多機能型※サービスの拡大	多機能型	55⇒100



継続強化

※多機能型：小規模および看護小規模多機能型居宅介護

- ・従来のエリア軸に加え、サービス軸からの発想から革新的なサービス運営体制の創造にも引き続き取り組み

## ③品質向上に向けた介護報酬加算取得と有資格者の拡充

- ・介護報酬加算取得と看護師や介護福祉士といった有資格者の拡充をはかり品質向上に引き続き取り組むとともに、加算取得を推し進め収益性の改善も実現



これまでも、これからも、ずっと在宅

④ 先端的技術の応用による業務の効率化

- ・ケアプランデータ連携システムの稼働をはじめ、AIやロボット、センサー等の応用により広範な業務の効率化を推進

⑤ M&Aの積極展開

- ・引き続き成長戦略のひとつと位置付けるM&Aについても、積極的に展開



これまでも、これからも、ずっと在宅

以上の施策を着実に推進し、2026年3月期の業績計画実現に取り組んでまいります。

単位：百万円

	2023年3月期 (実績)	2024年3月期 (計画)	2025年3月期	2026年3月期
売上高	52,551	55,350	58,800	62,800
営業利益	2,539	3,100	3,500	4,100
経常利益	2,709	3,077	3,500	4,100
純利益	1,713	2,000	2,255	2,640

- 上記業績計画は、CAGR等を参考に試算した数値であり、次期中期経営計画を示したものではありません
- 当社流動株式比率46.17%（2023年3月実績）および過去実績からの想定株価収益率（11.0）による試算においては、2026年3月期計画水準の達成により基準への適合は可能と思料しております



### Ⅲ. 課題に対する取り組み

#### (2) コーポレートガバナンスの強化 <より信頼にたる経営となるために>

##### ① グループガバナンス体制の強化

当社グループの拡大を背景にガバナンスの強化をより有効に実現すべく、ガバナンス委員会に加え、2021年10月に設置した指名委員会および報酬委員会といった機関が健全に機能し取締役会との密な連携を進める  
合わせて、取締役会の有効性の評価を定期的に行い、課題の改善を通して強化に取り組む

##### ② コンプライアンス教育・研修の強化

グループ全体のコンプライアンスへの理解深化をはかるべく、教育・研修の定期的な受講の徹底を図ると共に、社会の趨勢などに整合したコンテンツの拡充への取り組み



これまでも、これからも、ずっと在宅

### Ⅲ. 課題に対する取り組み

#### (3) サステナビリティ経営の推進 <経済価値と共に環境・社会価値を高めるために>

- ・引き続きマテリアリティに取り組みサステナビリティ経営を推進

	マテリアリティ	テーマ	方針・具体的な取り組み
<b>E</b>	環境への負荷の軽減	環境負荷考慮した事業活動	<b>施設開発：</b> ZEBに適合した新規開発施設の展開  <b>調達活動：</b> 施設系介護拠点における地産地消の推進 「グリーン購入」の導入と実践
		環境負荷軽減のために基本活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境負荷を考慮した執務環境の再整備</li> <li>● 社員への教育・啓蒙活動の実施</li> </ul>
<b>S</b>	社会インフラとしてのサービスの安定的供給	働きがいのある就労・職場環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な働き方を実現する制度・仕組みの策定と運用</li> <li>● 教育研修、資格取得支援の充実化への取り組み</li> </ul>
		人材育成と能力・技能向上への支援	
<b>G</b>	地域コミュニティとの共生	要介護者とその家族を孤立させないコミュニティネットワークの構築	コミュニティNo.1戦略を通じたコミュニティ形成のための取り組みの推進
		<b>持続的成長を実現するガバナンスの強化</b> 取締役会の実効性の強化 コンプライアンスの徹底	



### Ⅲ. 課題に対する取り組み

#### (4) IR活動の強化 <情報発信と会話を通してより適正な判断を得るために>

##### ① 発信情報の充実

- ・ 決算説明資料をはじめとするIR資料の充実
- ・ 気候変動（TCFD等）や人的資本などに関する情報開示への積極的な取り組み

##### ② 情報発信の機会や媒体の拡充

- ・ TDnetおよび当社ホームページからの情報開示につきましては、東証が定める適時開示基準に則りながら投資家に対する極的な情報の提供
- ・ 合わせて新サービスや新拠点の開始・開設等につきましては、広報機能との連携し、より媒体を広げ展開
- ・ 機関投資家や個人投資家との会話の機会を広げるべく外部機関をも活用し積極的な取り組み
- ・ サステナビリティへの取り組みについては、当社ホームページ内に専用ページを開設



### Ⅲ. 課題に対する取り組み

#### (5) 株主への還元 <株主への還元拡充に向けて>

##### ① 配当に関する基本方針

- ・ 連結業績をベースに経営体質の強化に必要な内部留保と成長に向けた適切な投資を実施しつつ、連結配当性向 30%を目安とした増配を継続

##### ② 自己株式の取得

- ・ 自己株式の取得については、経営を取り巻く環境の動向を踏まえて適切な時期において機動的に実施

##### ③ 株主還元制度

- ・ 引き続き長期保有を促すことを目的とする株主優待制度を継続



これまでも、これからも、ずっと在宅

